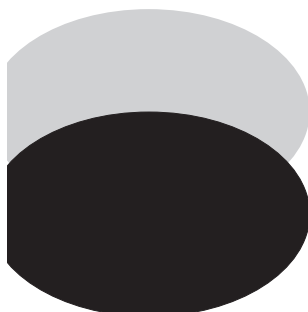


20200330

絵本学会 NEWS No.66

発行：絵本学会
発行日：2020年3月30日
編集：絵本学会広報委員会
絵本学会事務局：〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5
刈谷市美術館内 絵本学会事務局
E-mail office@ehongakkai.com
http://www.ehongakkai.com



絵本学会

第23回絵本学会大会のお知らせ
事務局からのお知らせ
各委員会からのお知らせ
絵本学会Who's who
新入会員紹介
理事会議事録

ー 第23回絵本学会大会 延期のお知らせ ー

このたびの、新型コロナウイルス感染の拡大に伴い、2020年6月6日(土)～7日(日)に熊本県阿蘇郡高森町で実施を予定しておりました第23回 絵本学会大会について、理事会で緊急審議を致しました。同時に、これまで準備をされてきました現地の実行準備委員会の方々と慎重に相談を致しまして、誠に残念ではございますが、大会を延期することを決定致しましたのでご連絡申し上げます。

予定しておりました大会は、学会員の重要な研究発表、作品発表の場でもありますので、これまで縮小案も含め、実施できるよう鋭意検討を行ってまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染が世界で、また日本各地でも急拡大し、収束の見込みが不透明な状況下、感染拡大防止の観点に立ち、また学会員、講演講師、ラウンドテーブル登壇者、並びに参加される皆様の安全を最優先に考え、大会延期との苦渋の決定となりましたことを、何とぞご理解賜りますようお願い申し上げます。

今後については、コロナウィルスの収束の時期をみながら、理事会、実行委員会、現地の実行準備委員会及び、講演者、ラウンドテーブル登壇者とも相談しながら決定し、あらためてご連絡致します。なお、日程などの関係で予定しておりました内容などが変更になることも予想されますが、さらに大会中止とせざるを得ない状況になりました際は、ご了承くださいますようお願い申し上げます。

なお、状況が刻々と変化しておりますので、引き続き危機感をもって万全の対策を講じる所存です。

実行委員一同、状況が好転することを祈りつつ、大会が実施できましたら、大会会場でみなさまにお会いできますことを心待ちにしております。みなさま、どうぞお気を付けおすごください。

大会実行委員長：藤本 朝巳

第23回大会(2020.6.6～6.7)では、次頁のプログラムを予定しておりました。今回の延期の決定により、プログラム自体に変更が生じる可能性もありますこと、ご承知おきください。新たな日程や詳細につきましては、次号NEWS67号(7月末発行予定)あるいは絵本学会ホームページでお知らせする予定です。

大会テーマ：絵本と自然－絵本における自然表現を考える

- ◆会場 阿蘇フォークスクール
- ◆プログラム

第1日 6月6日(土)

12:00～ 受付 旧体育館
13:00～ 開会式 旧体育館
13:15～14:45 基調講演 旧体育館
柳田 邦男氏(作家)

「絵本・新表現ジャンル宣言－こころの危機に答える絵本たち」
15:00～17:00 研究発表

■会場A

座長：生田 美秋、藤本 朝巳

- ①大澤 瑞綺「9世紀後半から20世紀初頭のフランスにおける絵本と印刷・製本技術——モーリス・ブテ・ド・モンヴェルの絵本作品をととして」
- ②Michelle Kanaan「ソフィスティケートドピクチャーブックスの新しい定義と分類をすること」

■会場B

座長：香曾我部 秀幸、鈴木 穂波

- ①関 純奈「林明子の絵本表現の一考察～2種の『おふろだいすき』の比較研究」
- ②児玉 茜「具体の絵本表現」

■会場C

座長：佐々木 由美子、長野 麻子

- ①杉本 孝美・川野 圭子「保育活動における体験を表現へー絵本で感性と思考力を育てるー」
- ②松本 由美(代表)・長澤 麻理・若林 みずほ「小学校英語教育に用いる主体的・対話的で深い学びの視点で選ぶ英語絵本の選定と考察」(2019年度絵本学会研究助成 研究報告)
- ③玉井 智子「特別支援学級での外部支援者による絵本読み聞かせ活動の意義について～特別支援学級担任へのアンケート調査から」

■会場D

座長：澤田 精一、甲木 善久

- ①尹 惠貞「『さびしがりのトッケビ』の構造分析——主人公が人間社会でいう「敵」として表れる場合」
- ②丸尾 美保「ロシアにおける「ゆきむすめ」イメージの変遷を探る」
- ③劉 暢「中国の美術大学における絵本創作の実例——中央美术学院の例から」

17:15～18:00 絵本学会総会 会場A

18:30～20:00 交流会「田楽の里」
〒869-1602 熊本県阿蘇郡高森町2685-2 TEL0967-62-1899

第2日 6月7日(日)

8:30～ 受付 旧体育館
9:00～10:00 作品発表 和室
10:15～11:30 記念講演(75分) 旧体育館
いせ ひでこ氏(絵本作家)

「木を友だちだと考えたことはありますか
ー「木のあかちゃんズ」と長田弘詩「最初の質問」をつなぐもの」

11:35～12:30 休憩 昼食は各自持参

12:35～14:00 ラウンドテーブル(85分)

■A 被災地からの報告、難民絵本 会場A

話題提供者：葉山 祥鼎(葉祥明美術館長)
長野 良市(写真家、南阿蘇在住)
前田 君江(東京大学)
小野寺 美奈(東京家政大学)

コーディネーター：前田 君江

■B 絵本セラピーについて考える 会場B

話題提供者：岡田 達信(絵本セラピスト協会代表)
中山 美加(絵本セラピスト)
中山 理沙(絵本セラピスト)

コーディネーター：中山 美加

■C 絵本の自然描写を考える 会場C

話題提供者：出版社編集者(交渉中)
生田 美秋(富山県立高志の国文学館)
藤本 朝巳(平和学園学園長)

コーディネーター：生田 美秋

14:00～ 閉会式 会場A

◆教材・資料展示

ご賛助各者・協力者等による展示。両日とも。教室前通路

◆関連イベント

- 1.「長野 良市 写真展」カフェにて開催
- 2.「南阿蘇 TOUR 震災遺構と阿蘇の自然景観を巡る旅」

事務局からのお知らせ

●2020年度会員名簿作成および日本学術会議協力学術研究団体登録申請に関わる会員情報収集のお願い

2016年度絵本学会総会時に承認されました通り、絵本学会では日本学術会議協力学術研究団体の登録申請を進めております。

つきましては、新年度の活動計画の「絵本学会会員名簿2020年度版」作成にあたりまして、標記の申請に関わる会員情報を同時に収集させていただきたく、お願い申し上げます。5月中旬に会員情報記入表をお送りいたしますので、今までの会員名簿に掲載した情報に変更がない場合にも、確認のため、必ずご回答ください。

また、日本学術会議協力学術研究団体における「研究者」(下記参照)に該当する方につきましては、研究者の区分・勤務先・役職・性別を必ずご回答ください。尚、会員情報は事務局にて管理し、会員名簿作成および、申請以外には使用いたしません。

日本学術会議協力学術研究団体登録に必要な情報ですので、必ずご回答くださいますようお願い申し上げます。皆様方には大変お手数をおかけいたしますが、何とぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

● 会員情報の提出方法

5月中旬にお送りする会員情報記入表に記入していただき、事務局まで返送いただく予定です。

日本学術会議協力学術研究団体における「研究者」に該当する方におかれましては、下記の「研究者」の区分(1)～(6)のうち、該当する番号を必ず追記してくださいますようお願い申し上げます。

● 学術研究団体としての称号の付与を受けるための要件確認では、「研究者」の具体的範囲は以下のように定められています。

- (1) 大学、高等専門学校、大学共同利用機関等において研究に従事する者
→ 例) 大学教授、准教授(助教までで、助手等は該当しません。)
- (2) 国立試験研究機関、特殊法人、独立行政法人等において研究に従事する者
- (3) 地方公共団体の試験研究機関等において研究に従事する者
- (4) 公益財団法人、公益社団法人、一般財団法人、一般社団法人等において研究に従事する者
- (5) 民間企業において研究に従事する者
→ 例) (2)～(5)については、研究所の研究員
- (6) その他、高度の専門性を有し、職務として研究に従事する者、又は、当該研究分野に関し、優れた業績を有する者
→ 例) 非常勤講師や非常勤研究員、名誉教授

紀要編集委員会からのお知らせ

● 絵本学会紀要『絵本学』第23号投稿論文募集について

絵本学会紀要『絵本学』第23号への投稿論文を募集します。なお、下記投稿規程の他に執筆要項があります。原稿は、必ず執筆要項に従って作成してください。執筆要項は、絵本学会ウェブサイトからもダウンロードすることができます。

絵本学会研究紀要『絵本学』投稿規程

◎投稿資格: 絵本学会会員および準会員 2020年8月31日までに会員資格を有していること。

◎内 容: 絵本に関する研究論文、研究ノート、論説、報告で、未発表のもの。

【研究論文】研究の視点や手法、理論展開及び結論に独創性や説得力が高く認められるもの

【研究ノート】研究の基礎データになる資料、あるいは理論構築の可能性が認められるもの

【論 説】学術的な論で、注目すべき研究・作品・作家・展覧会・活動を取り上げての評論など

【報 告】活動紹介や文献紹介など

- 掲載採択: 査読に基づき、編集委員が掲載の採否を決定する。必要に応じて編集委員の外に査読委員を依頼する場合がある。採否判定の過程・理由は開示しない。ただし、投稿者は、結果について説明を求めることができる。この場合、編集委員会は申し出の内容を精査の上、適正範囲内で回答する。

● 執筆要項: 執筆は別に定める執筆要項に従うこと。

● 投稿締切: 2020年9月30日(必着)

● 採択通知: 2020年12月15日までに投稿者へ通知する。

● 刊 行: 2020年度内

● 原稿送付先: 絵本学会事務局(郵送とする。FAX、電子メールなどによる送付は不可)

<文章量についての注意>

絵本学会紀要『絵本学』へ投稿を希望される方は、執筆要項をよく読んで、原稿を作成して下さい。特に、文章量にはご注意ください。

絵本学会紀要『絵本学』は第1号以来、同じ書式で作成しています。現在の紀要のページ割では、註・引用文献・参考文献を含め、研究論文は8ページ、研究ノートは6ページ、論説と報告は4ページを原則とします。このうち、はじめの左半ページは、表題、執筆者名、専門分野、和文・英文抄録等の記載に使用します。本文は右半ページからはじめます。

<原稿送付についての注意>

原稿送付にあたっては、採択通知の送付希望先を明記した送付状等を、必ず添付してください。メールでは通知いたしません。

絵本学会研究紀要『絵本学』執筆要項 （2017年7月15日改訂）

執筆はこの要項に準拠すること

【基本事項】

- ◎ 使用言語：日本語
- ◎ 原稿体裁：投稿時には、表紙+抄録(和文と英文)+本文から構成する。
必ず完成原稿であること。提出後の内容変更や加筆修正は認められない。原則として、ワープロによる横書き。
- ◎ 表紙：原稿種類(研究論文・研究ノート・論説・報告のいずれかを記載)、論文タイトル(和文と英文)、執筆者氏名(ローマ字を併記)、所属または職名、専門分野、キーワード3語を明記のこと。
- ◎ 抄録分量：和文要旨を、横25文字×縦16行(文字数にして400字以内)で記述。英文要旨は、単語数にして約200語程度にして記述(掲載決定後の提出で可)。
- ◎ 本文分量：原則として本文1篇につき、註・引用文献・参考文献を含めて、1頁に横23字×縦44行を2段組にして、研究論文4～8頁(文字数にして7,000字～15,000字)、研究ノートは4～6頁(文字数にして7,000字～11,000字)、論説と報告は4頁(文字数にして7,000字)以内。図・写真・表などの図版は別。
*研究論文、研究ノート、論説、報告のいずれも、掲載決定後の原稿では、論文名・執筆者名・所属または職名・専門分野・抄録に最初の半頁を使用。具体的には最近の紀要を参照のこと。
- ◎ 図版(図・表・写真など)：モノクロを原則とする。カラー図版の場合、経費は投稿者の自己負担とする。編集・印刷の都合で、図版は本文の後に頁を改めて配置する(本文中への挿入はしない)。使用する図版数は特に限定しないが、研究論文・研究ノート・論説・報告ともに本誌4頁以内に納まるように、原則として投稿者がレイアウトする。
- ◎ 著者校正：原則1回のみ。文字変換ミスの修正など最低限の訂正のみとする。
- ◎ 進呈：執筆者には、掲載誌5部を無料進呈する。
- ◎ 抜刷：掲載が決定した段階で希望部数を受け付ける。30部、50部、100部単位で、費用(実費)は執筆者が負担する。
- ◎ 提出物：投稿時と掲載決定後に分ける。
1)投稿時には、プリント原稿4部を提出(図版原稿を含む。コピー可)。
*図版原稿(使用する場合)は、原則として、執筆者が、番号・キャプションをつけ、レイアウトして提出する。
2)掲載決定後に、プリント原稿4部とともに、テキスト原稿データと図版原稿データをCD、DVD、フラッシュメモリなどの記憶媒体に入れて提出する。図版原稿データは、PDFファイル形式でも保存し、そのデータも添えること。各ファイルに、内容がわかるファイル名を付け、拡張子によりファイル形式がわかるようにする。
*ワープロソフトは、Wordを原則とする。
*図版原稿に写真などの画像がある場合は、原則として300dpi以上の高解像度のデータも別に提出のこと。
*図版キャプションも、別原稿として提出すること。
*記憶媒体には、ラベルなどにより、論文名、氏名、使用ソフト名&バージョンを記す。別紙での提出可。

【論文表記・表示】

- ◎ 文章：原則として常用漢字を使用し、仮名づかいは現代かなづかいと新送り仮名に従い、常体とする。ただし、特別の事由があるときは、この限りではない。
- ◎ 句読点：「、」および「。」とする。

- ◎ 符号：論文名あるいは引用文の表示には「」を使用し、文中における書名、誌(紙)名の表示に『』を使用する。
- ◎ 文字：数字およびローマ字は、半角文字を使用する。
- ◎ 固有名詞(特に外国の場合)：文中初出の人名は、必要に応じてフルネームをカナ書きし、その後に()で、原綴りを付記する(ただし、ミドルネームの頭文字は原語のままとする)。官公庁、研究機関については、原綴りを補記する。
- ◎ 見出し：本文中の見出し(章、節、項など)は左揃えを原則とする。
- ◎ 註・引用文献：註は該当用語または該当センテンスの右肩に(註○)のように番号表記し、本文後ろに一括して番号順に記載する。
他の文献などから引用する場合は、出典を明示するものとする。
*引用は公正な慣行に合致し、かつ引用の目的上正当な範囲内に限ること。
- ◎ 参考文献：註・引用文献の後に一括して記載する。註・引用文献と同じものがある場合には、参考文献に記載しない。
- ◎ 図版(図・写真・表など)：通し番号をつけ、本文の後に頁を改めて配置する。
*本文中で図版の説明をする際、対応する図版を明示する。示し方は、図(図、写真など)と表を区分して、(図○)、(表○)のように表し、該当用語または該当センテンス末に記載する。
*図版には必要に応じてキャプションを記す。図版の出典、クレジットなどを示す必要のある場合には、キャプションの末尾に記す。
*写真等の著作権上の掲載許可については、投稿者自身が自らの責任において事前に適正に行い、その旨を記載すること。

【書誌記載法】

原則として、以下の内容を、以下の順序で記載する。初版以外の図書には版刷数を記す。

- ◎ 図書：著者名「論文名または章立てなどの見出し」『書名』(シリーズ名などがあれば記載) ○版○刷、出版社、発行年月、頁
- ◎ 紀要・雑誌・新聞：著者名「記事(論文)名」『掲載誌名』 ○巻○号、発行年月日、頁
- ◎ 翻訳書名・記事：原著者名、翻訳者名「記事(論文)名」または『書名』(シリーズ名などがあれば記載) ○版○刷、出版社、発行年月、頁

付記

- *提出された原稿は、原則として返却しない。
- *図版原稿などで返却が必要な場合は、事前に申し出ること。
- *字句の表記、図版掲載など、論文掲載方法について編集委員会から相談する場合がある。
- *英文タイトルと英文要旨については、できるだけネイティブチェックを済ませること。
- *この規程に記されていない事項については、編集委員会が判断する。

以 上

研究委員会からのお知らせ

●2020年度研究助成応募申請要項について

2020年度研究助成についてお知らせいたします。学会員皆様の応募をお待ちしております。応募申請の手順等は以下の通りです。

① 応募資格

2020年度年会費納入済みの会員であること。プロジェクト研究の場合は、全員が会員とする。

② 申請書

本『絵本学会 NEWS66号』に同封されている「絵本学会 2020年度研究助成申請書」に必要事項を記入の上、絵本学会事務局宛に郵送してください。または、学会のホームページ掲載の「2020年度研究助成応募申請要項」をダウンロードして記入の上、メールで申請してください。

③ 募集の件数および助成金額

合計3件(1件につき5万円の助成)

④ 応募の締め切り

2020年6月30日(火)消印有効、メールの場合は6月30日必着

⑤ 結果の通知

2020年7月末日までに研究委員会より研究代表者宛に通知します。

⑥ 研究成果報告書の提出について

研究助成の採択を得た場合、2021年3月末日までに研究成果の報告書をA4サイズ1枚程度(書式、字数は自由)にまとめ、決算報告書を添付の上、研究委員会宛に提出してください。なお、研究成果は、絵本学会大会や『絵本学』での公開を望みます。

【提出方法】

メールの場合：絵本学会事務局 office@ehongakkai.com

＊メールタイトルに「研究助成申込」と記載のこと。

郵送の場合：〒448-0852 愛知県刈谷市住吉町4-5

刈谷市美術館内 絵本学会事務局

＊封書の表に「研究助成申込書類在中」と朱書きのこと。また事前にメールにて「郵送」の旨の連絡をお願いします。



イラスト：井之口真央

絵本学会 Who's who

今号は、今田由香理事について、日本女子大学の後輩である甲斐聖子さんが紹介してくれました。

今田由香理事はこんな人

甲斐 聖子(日本女子大学)

今田由香さんは、私にとって、日本女子大学の頼もしい先輩であり、いつでも親身に接してくださるお姉さんのような存在です。今田さんとの出会いはかれこれ、10年ほど前でしょうか。今田さんが、日本女子大学児童学科で助教としてお勤めをはじめたころ、石井光恵先生のもと修士課程を修了した私は、行くあても無く、石井先生に誘われるがまま、面白そうという理由だけで、非常勤助手として、今田さんの下で働くこととなりました。

今田さんの仕事ぶりは、今でも学科の中で、伝説的に語り継がれており、初年度から、ほかの先輩助手さんと同等に仕事をこなし、それどころか、培ってきたさまざまな社会経験を活かして、例年通りがお決まりの研究室に次々と変革をもたらしていました。

当時、右も左も分からぬ私は、来たばかりの今田さんに頼りきりで、本当に些末なことを一から教えていただきました。仕事に対する向き合い方、職場での振る舞い、研究姿勢など、社会に出て初めて出合う職場の先輩が今田さんだったことは、私の人生において恵まれたことでした。さらには、石井先生を筆頭に、研究費を獲得して、絵本作家や編集者を招いて催しを企画したり、一緒に海外まで出張にいったり、たくさんの関わりを持つなかで、楽しいことばかりではなく、困難や苦労も共にし、後輩でありながら、生意気にも同志のような気分も味わいました。なによりも、帰りしなに、研究のこと、好きな絵本や作家について、演劇や映画、最近の社会情勢やら、流行まで、トピック豊かに話せる時間が楽しみで、さりげなく一緒にできるよう、タイミングをはかることしばしばでした。

今田さんは、日本女子大学で助教としての任を終えたあと、浦和大学、京都女子大学と大学を移り、その間に博士号を取得し、博士論文を書籍にまとめられました。今では、准教授となり、気楽に先輩なんて言えないような、遠い存在となってしまいましたが、変わらず私のことを気に掛けて下さり、連絡のたびに、必ず特別な「お土産」をくれます。

この場合の「お土産」は、「物」ではなく「情報」です。「今、〇〇さんの個展をやっているよ」とか、「こんな記事がでていたよ」とか、私に益がある、よろこびそうなことを、さらっと教えてくれるのです。それがとっても嬉しくて、私も今田さんが喜ぶような「お土産」が無いかなと、頭の片隅においていて、これだ!と思うと連絡をするのですが、たいていのことは、なんでもござれで。恐るべし!今田情報網と、悔しい思いをしています。

以前、アルバイトの面接で、特技:検索といって笑われたことがある。というエピソードを聞いたことがあるのですが、これが本当にそう、今田さんはとにかく調べるのが早くて、正確で、なおかつプラスαの情報にも長けています。情報の収集から、その処理能力と、取捨

選択能力に抜群のセンスがあり、優れた人はやっぱりどこか違うなと、いつも感心しきりです。

今現在も企画委員に誘って頂き、色々な折にご一緒出来ていますが、今田さんとの仕事は、確実に面白いことができそうだというワクワク感にあふれているので、全く苦がありません。少しでも企画が面白く、参加者が豊かな時間を過ごせるように、じっくり検討を重ね、準備ができるからです。過日京都女子大学で、開催されたフォーラムでは、ゼミ生をはじめ沢山の学生の参加があり、皆、みやこしさん×沖本さんの話に興味津々。熱心に耳を傾けてました。ゼミ生たちに、それとなく今田先生について聞いてみると、面白い絵本を教えてくれるだけでなく、絵本作家や絵本編集者など、作り手や売り手との出会いの場を作ってくれる優しい先生です!とのこと。学生の輪の中心で微笑む今田さんが幸せそうで、とっても印象的でした。2020年度の企画も面白いことになりそうです。会員のみなさま、どうぞご期待くださいね。

今田さんの後輩としては、なんとも頼りない私ですが、楽しいこと、これからも一緒にできますように、願っています。



イラスト：井之口真央

新入会員の自己紹介コーナー	
田中 浩之 こんにちは。横浜創英大学こども教育学部幼児教育学科で教授をしております田中浩之と申します。この度は、絵本学会へ入会させていただき、誠にありがとうございます。 さて、私は2019年6月から第6期絵本専門士養成講座を受講しております。最終課題も発表され、毎日頭を抱えております。 絵本専門士の養成講座を受講するたびに、絵本の奥深さに頭をガツンとやられた気持ちになります。今現在、学びしかありません。私の専門は、「ピオトーブ」ですが、絵：いせひでこ、詩：長田弘の「最初の質問」という絵本をたまたま本屋さんで見つけ、絵本の楽しさ、素晴らしさに気づかされました。それが、2019年の1月でした。そこから絵本を買い漁り、今では140冊を超えるまでになりました。読むたびに、新しい発見があります。 私の専門は自然体験活動や生態系の仕組みです。森の中で、絵本の読み聞かせと自然体験活動を組み合わせた活動に取り組みたいと考えております。	堀地 はるみ 富山県在住の堀地はるみと申します。絵本専門士4期生です。絵本の持つ多様な要素や魅力について深く勉強したいと入会いたしました。 地域では、様々な絵本を携えて小・中学校に赴き、先生や子どもたちに絵本に触れてもらう講座を受け持っています。子どもたちが豊かな感受性で絵本の魅力を感じ、話しかけてくれることがうれしくて、ささやかに活動しています。 また、新聞社のコミュニティラジオにて、絵本を紹介する番組を市民として担当しています。 絵本の絵と言葉と頁をめくることによって生まれる時間や美しさ、絵を見せずに伝えることはとても難しいですが、すこしでも、絵本っていいなあ、と、リスナーに感じていただけるように努めています。 1997年より、近刊書・絵本の中から毎年推薦書を選び、市内小中学生全員に配布するリーフレット「おもしろい本みつけたよ」の編集発行*に関わっています。どうぞよろしくお願いいたします。 (*富山市生涯学習課の委託事業、母体は富山市PTA連絡協議会)
田中 優子 はじめまして。久留米大学文学部の田中優子と申します。19世紀イギリス児童文学、特にGeorge MacDonald(1824-1905)の作品を研究しています。もともと絵本にも興味がありましたが、研究対象としてはファンタジー作品を扱ってきました。娘がうまれて絵本に接する機会が増えたこともあり、もっと絵本のことを本格的に学びたいと思い、この度入会させていただきました。 最近は、子ども図書館にも興味があり、いろいろな県の子ども図書館に立ち寄ってはその建物や蔵書、その環境自体のすばらしさにほれぼれしています。特に「文庫」と呼ばれる活動にも興味があり、これからいろいろな場所の文庫や図書館を訪れてみたいな、と思っています。 絵本学会に入り、いろいろなジャンルがご専門のみなさまと交流できますことを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。	
戸田 瑞穂 「この絵本、手元に置きたい」と初めて感じたのは、ポップアップ絵本の復刻版『Land of Sweet Surprises』を大学で偶然手にした時でした。繊細な絵が現れるのは魔法のようで、作者、過去の読者、出版社へも想像が広がりました。これを機に絵本を集め始めますが、当初は私だけの秘密の楽しみで、絵本との時間は自分自身と対話する時でもありました。 やがて、仕事で子どもたちに絵本を読むうちに、様々なジャンルの魅力を知りました。出産祝いの絵本を機に始めた、家族との絵本タイムは、子育てを豊かにしてくれました。引越先で、絵本を語り合える友人と始めた読み聞かせのグループは15年目、沢山の出会いを得ています。今は保育者を志す学生さんの授業に、絵本を通してメッセージを送りたいと考えています。 絵本をいろいろな角度から見ていきたいので、どうぞよろしくお願いいたします。	 イラスト：山田白百合

絵本学会理事会報告	
◎2019年度第2回絵本学会理事会 議事録 日 時：2019年9月29日(日)13:30～17:30 会 場：日本女子大学(新泉山館)4階 児童学科会議室 出 席：澤田精一(会長) 松本育子(事務局長) 生田美秋 今田由香 甲木善久 佐々木由美子 鈴木穂波 長野麻子 藤本朝巳 丸尾美保 甲斐聖子(事務局補助) 辻政博(第22回大会の審議事項のみ) ◆報告事項 1 会長より 澤田会長より第2回理事にあたり挨拶がなされた。 2 前回2019年度第1回絵本学会理事会議事録の確認 資料に基づき、2019年度第1回議事録の確認がなされ、承認された。 3 各委員会報告 ①企画委員会 ・絵本フォーラム開催について 今田委員長より、資料に基づき予定している2019年度フォーラムについて概要の説明がなされた。 タイトル：「ふたりのたび 絵本作家みやこしあきこ・絵本編集者沖本敦子」(仮) ゲスト：みやこしあきこ氏 沖本敦子氏 日 時：2020年2月8日(土) 14時～16時頃(予定) 場 所：京都女子大学 交流の床 定 員：80名 参加費：1,000円(学生無料) 広報計画についても説明があり、会員へのチラシの送付依頼ならびに絵本学会HPへの掲載依頼がされた。 ②紀要編集委員会 『絵本学第21号』の発刊について鈴木委員長より報告があった。多数の応募があったなか、査読を経て最終的に掲載された研究論文は2点であった。 ③機関誌編集委員会 『絵本BOOKEND2019』の発刊について藤本委員長より報告があった。判型はそのまま、ページ数を減少させるなどの工夫をし、制作費の削減を図ったことが報告された。 ④研究委員会 以下の事項について丸尾委員長より報告があった。 1)2019年度研究助成は下記3件が認定された。 〈個人研究・調査〉 1.「SDGs*絵本」の収集と考察、および、同テーマの学びにおける絵本活用への提案」 *Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」 申請者：前田君江氏 2.「中華人民共和国における絵本・児童書の出版状況の研究、及び、絵本の出版」 申請者：後藤仁氏 〈プロジェクト研究・調査〉 3.「小学校英語教育に用いる主体的・対話的で深い学びの視点で	選ぶ英語絵本の選定と考察」 申請者：松本由美氏 共同研究者：長澤麻理氏、若林みずほ氏 2)2019年度絵本セミナーの開催結果について 2019年度絵本セミナーとして、2019年7月20日(土)に一般財団法人大阪児童文学振興財団との共催により、国際講演会「韓国の絵本作家/パク ジョンチェの絵本を語る」を開催し、定員60名を超える74名の参加者に恵まれ、なごやかで充実した講演会であった旨報告がされた。 ⑤広報委員会 『学会NEWS64号』が発行され、現在『学会NEWS65号』発行に向けて活動中である旨、佐々木委員長より報告があった。また、HPについて、『絵本BOOKEND』が2007年までしか掲載されていないところなど、点検と更新を行ったことが話された。 ⑥特別委員会 日本絵本研究賞について、理事会開催日午前中に特別委員会が行われ、意見交換がなされた旨、生田委員長より報告があった。 4 事務局より 後援依頼があり、以下2件の事業後援を行うこととなった。 ①「不朽の物語のひみつ～『グリム童話』を中心に～」 2019年10月18日(金)～2020年1月13日(月) 軽井沢絵本の森美術館 ②「石内都展 都とちひろ ふたりの女の物語」 2019年11月1日(金)～2020年1月31日(金) ちひろ美術館・東京 また、松本事務局長より、後援依頼については審議事項ではなく、慣例に則り賛助会員からの依頼は承認し、美術館や博物館からの依頼についても事務局判断で承認するとし、今後は個人会員からの依頼など審議が必要と判断する依頼を除き、理事会で報告することが提案され、承認された。 5「フォーラム 子どもたちの未来のために」について 澤田会長より、7月13日(土)に、ひと・まち交流館京都(京都市)で開催された「シンポジウムIN京都 私たちの時代・私たちの表現ーいま、子どもたちに何を伝えるかー」について、盛況であった旨報告がなされた。 6 その他 ・11月23日(土)、24日(日)に開催予定の日本児童文学学会大会(於：白百合女子大学)にて、絵本学会の紀要および、『絵本BOOKEND』の販売を行うことが報告された。 ◆審議事項 1 入退会および除籍者について(2019年6月1日～9月28日) 以下の新入会者及び退会者が承認された。 ・入会者：梶浦 真由美 高橋 理枝 劉 暢 ミシェル カナアン 佐藤 智広 仲嶋 貴将 久田 有香 西 隆太郎 倉原 弘子 伊豆田 麻子 伊藤 敬佑 山本 弥栄子 森本 かえで 森 健治 赤須 薫 有木 永子 岡澤 朋香 計17名 ・退会者：延藤 安弘 梶原 康子 計2名 2 第22回絵本学会大会報告について 大会実行委員長である辻氏より、資料に基づいて6月1日及び2日

に帝京大学八王子キャンパスで行われた第22回絵本学会大会報告がなされた。大会が無事に終了し、2日間での参加者は総数233名(会員140名、一般(学生含)93名)であったと伝えられた。今回、施設使用料が無料であったこと、また賛助企業より、広告・資料展示などを募ったことにより黒字運営となり、収益については、大会報告書の作成を行ったほか、繰越金として、学会事務局に戻し入れることとなった。 3 各委員会より ① 企画委員会 特になし。 ② 紀要編集委員会 『絵本学第22号』の発刊予定について資料に基づき鈴木委員長より説明がなされ承認された。 ・昨年度同様の印刷所に依頼予定で、レイアウトについては、今年度は事務局が請け負う。 ・スケジュール・内容に関しては、昨年度並みのスケジュールを予定している。 ③ 機関誌編集委員会 次号より、朔北社から新会社(株式会社文伸)へと出版社を切り替えることが藤本委員長より提案され、今までの在庫問題や具体的な次号の費用など懸案事項について理事間で話し合いがなされた。結論としては、朔北社には在庫の今後について、新会社には①編集・契約内容などの覚え書き、②これまで(朔北社での制作分)の在庫管理の内容・条件、③年間に係る費用の見積もりを藤本委員長から問い合わせいただき、その結果をメール審議なども活用しながら、理事間で共有し、最終的には次回理事会で審議することとなった。それに伴い『絵本BOOKEND2020』のスケジュール・内容に関しても継続審議となった。 ④ 研究委員会 特になし。 ⑤ 広報委員会 ・NTTコミュニケーションズ「Bizメール&ウェブエコノミー」サービス終了に伴う対策について佐々木委員長より代替案の説明がなされた。①HPを管理している光陽メディアを通じさくらインターネット社へドメイン・サーバーを移すこと。②移行作業費(30,000円)の支出があること。どちらも承認された。移行作業費については、予備費で支出をすることとなった。 ・メールニュースの運用について、理事間での意見交換が行われ、廃止も含め検討がなされた。廃止の場合には、緊急性の高いお知らせを会員にどのように発信していくか、SNSの運用も含めて広報委員会で引き続き話し合うことが確認され継続審議となった。 ⑥ 特別委員会 日本絵本研究賞の改正案について、資料を基に生田委員長より説明がなされた。様々な意見交換の末に、改正案の内容については前特別委員会の意見も伺いながら、特別委員会内で丁寧な話し合いを重ね、次回理事会で再度継続審議を行うこととなった。 4 日本学術会議協力学術研究団体への登録について 資料に基づき、藤本理事より説明がなされた。①研究内容が国際的であること②会計状態も確認されること③全会員の半数が研究者であること。など登録に向けた具体的な観点が示され、③のことについて、現状の会員名簿を再度確認し登録に向け継続審議することとなった。	5 第23回絵本学会大会(2020年度)および以後の大会開催について ①第23回絵本学会大会について大会実行委員長である藤本理事より資料が提示され承認された。 ・テーマを「自然と絵本」とすることとなった。 ・ラウンドテーブルについては、大会実行委員会で検討し、次回理事会で提案することとなった。 ・次号NEWSで会員に周知する研究・作品発表のスケジュールについて確認がなされた。 1月21日(火)までに入会手続きが完了していること 発表申し込み期間2月1日(土)～2月23日(日) 3月22(日)までに結果のお知らせ ・旅行会社に宿泊や交通など業務委託できないか確認していただくこととなった。 ②第24回・第25回大会について 松本事務局長より、第24回・第25回大会について検討を始めるにあたり、次回理事会で、開催候補地や団体の心当たりを持ち寄るよう、各理事に対して依頼がなされた。 6 その他 ①国際グリム賞の受賞について 第17回「国際グリム賞」の受賞者が、絵本学会会員の三宅 興子教授に決定したことが鈴木理事より報告された。絵本学会として11月9日に予定されている記念講演会へ祝電を送ることとなった。 ②次回以降の理事会開催日程について 第3回理事会は、12月8日(日)、第4回理事会は、3月1日(日)、各日13時半からの開催となった。 ◎2019年度第3回絵本学会理事会 議事録 日 時：2019年12月8日(日)13:30～17:00 会 場：日本女子大学(新泉山館)4階 児童学科会議室 出 席：澤田精一(会長) 松本育子(事務局長) 生田美秋 今田由香 甲木善久 佐々木由美子 鈴木穂波 藤本朝巳 丸尾美保 甲斐聖子(事務局補助) 藤安代(第23回大会の審議事項のみ) 欠 席：長野麻子 ◆ 報告事項 1 会長より 澤田会長より第3回理事会にあたり挨拶がなされた。 2 前回2019年度第2回絵本学会理事会議事録の確認 資料に基づき、2019年度第2回議事録の確認がなされ、承認された。 3 各委員会報告 ① 企画委員会 今田委員長より、2019年度の絵本フォーラムについて、作成されたチラシが配布され、以下の通り報告がなされた。 タイトル:『ぼくのたび』ができるまで 絵本作家みやこしあきこ・絵本編集者 沖本敦子 日 時：2020年2月8日(土) 14:00～16:00 会 場：京都女子大学・図書館・交流の床 参加費：1,000円(学生証提示で無料) 定 員：80名
--	---

広報計画についても、会員へのチラシの送付および、絵本学会HPでの掲載依頼についてもあわせて確認がなされた。 ② 紀要編集委員会 鈴木委員長より、『絵本学第22号』の進捗状況について報告がなされた。 第22号絵本学会紀要について、理事3名学会員2名に査読を依頼し、11月10日に行われた査読委員会で検討された結果以下ようになった。応募数が、論文10件、研究ノート1件あり、このうち、研究論文1件を訂正の上掲載可。研究論文1件については、訂正・再提出の後、再査読となった。更に研究論文1件に関しては、論説とし、訂正・再提出の上再査読、研究ノート1件については、訂正・再提出の後、再査読を行うこととなった。1件は、採択され、その他3件については、掲載保留となっている。再提出の期日は、12月10日とし、再査読をして年明けには最終原稿の締め切りというスケジュールを予定している。 ③ 機関誌編集委員会 藤本委員長より『絵本BOOKEND2019』の発刊について説明がなされた。メール審議において、内容は既に承認されており、今年度は、株式会社文伸で行うこと。原稿依頼が始まっていることなどが話された。 ④ 研究委員会 特になし。 ⑤ 広報委員会 佐々木委員長より、以下の事柄について報告がなされた。 1.絵本学会HPおよびメールに関わるサーバーの移行について NTT社からさくらインターネット社へサーバーの移行が完了した。これにより、絵本学会HPおよび、メールアドレスが継続して使用できることが確認された。移行に伴う費用は、以下の通りであった。52,140円(移行、作業費、年間管理費など含む) 2.絵本学会NEWS65号、66号について 『絵本学会NEWS65号』が只今、印刷中であり、『絵本学会NEWS66号』の内容が示され、2月末の締め切りおよび3月末の発行を目標としていることが伝えられた。 ⑥ 特別委員会 11月24日(日)に日本絵本研究賞特別委員会を開催した。 4 事務局より 1.後援依頼があり、以下3件の事業後援を行うこととなった。 ①開館30周年記念企画展 春展『「グリム童話」のメルヒェン旅行記』 2020年3月1日(日)～6月22日(月)：軽井沢絵本の森美術館 ②「〈没後10年〉瀬川康男 坦雲亭日乗－絵と物語の間」 2020年3月1日(日)～5月17日(日)：ちひろ美術館・東京 ③「もろはしせいこう 超大型紙芝居の世界 vol. 2」 2020年4月30日(木)、5月1日(金)：東京都豊島区「あうるすぽっと」 申請：一般財団法人 文民教育協会 子どもの文化研究所・子どもの文化学校 2.後援した以下の団体から活動報告がなされた。 ①「絵本に暮らす動物たち」 2019年3月1日(金)～10月14日(月) 5 「フォーラム 子どもたちの未来のために」について 澤田会長より、次回は、2020年2月1日(土)に、シンポジウム 私た	ちの時代・私たちの表現 ーいま、子どもたちに何を伝えるかー於：出版クラブビル(神保町)を開催予定である旨が報告された。 6 その他 ・鈴木理事より、「国際グリム賞」受賞の三宅興子教授への絵本学会よりの祝電に関する御礼と会の報告がなされた。 ◆ 審議事項 1 入退会について(2019年9月29日～12月7日) 以下の新入会者が承認された。 ・入会者：横田 潤子 田中 浩之 戸田 瑞穂 堀地 はるみ 五十嵐 紗織 田中 優子 伊藤 明美 久本 直子 (払込日順)計8名 2 第23回絵本学会大会の開催について 第23回絵本学会大会の担当である藤本理事および、実行委員の藤安代氏より、計画案に基づき大会概要および詳細について説明がなされた。 ①大会概要について以下の通りとなった。 日 時：2020年6月6日(土)～7日(日) テーマ：「自然と絵本」 講演会ゲスト：柳田 邦男氏、いせ ひでこ氏 開催場所：熊本県阿蘇郡高森町 小学校跡地校舎 高森町阿蘇フォークスクール、上色見総合センター、体育館、校庭(駐車場として確保) 交流会場：高森「田楽の里」 ②講演会および、ラウンドテーブルの内容について説明がなされた。 ③支援団体(個人含む)および協賛金・広告掲載収入の見込み(目標40万円)について報告があった。 ④交通手段や宿泊施設について、実行委員の藤氏より説明があった。送迎やシングル利用の有無など詳細について説明がなされたが、大会事務局での取りまとめは難しく、宿泊先情報を会員に提供し、個人で宿泊施設に申し込む流れとなることが話された。 ⑤交通手段については、有料で、貸し切りバスなどの手配を考えていることや、レンタカーおよび、公共のバスについても説明がなされた。高森駅から会場までは、タクシーかシャトルバスの手配を考えている旨話された。 ⑥1日目と2日目のスケジュールについて、おおよそ以下の通りとなった。 1日目 12:00～13:00 受付 13:00～13:15 開会式 13:15～14:45 講演会 15:00～17:00 発表(6部屋×4人=計24想定) 17:15～18:00 総会 18:30～ 交流会 2日目 8:30～ 受付 9:00～10:30 発表 10:45～12:00 講演会 12:00～12:45 昼食 12:45～14:00 ラウンドテーブル
---	---

⑦「おみやげの一冊」や、「視察コース」など独自の企画も予定している旨話された。

3 各委員会より

① 企画委員会

特になし。

② 紀要編集委員会

特になし。

③ 機関誌編集委員会

『絵本 BOOKEND2020』は、株式会社文伸で発行することが、先の理事会で決定しているが、今までの在庫の管理・販売はこれからも朔北社が行い、費用は一切かからないように、契約書も交わした旨藤本委員長より報告があった。他の理事から今までの経緯についての質問が出たが、過去の契約書や覚書などの資料をもとに、藤本委員長および生田理事より説明がなされた。今までおよびこれからの『絵本 BOOKEND』の在り方について議論がなされたが、説明に従い、2社とそれぞれ覚書を交わすこととなった。

④ 研究委員会

特になし。

⑤ 広報委員会

特になし。

⑥ 特別委員会

資料「日本絵本研究賞の見直し案(素案)について」を基に、生田委員長より説明がなされた。主な変更点や見直し案などについて、細かく確認がなされたが、委員会で更に内容をつめ、次回理事会で継続審議となった。

4 日本学術会議協力学術研究団体への登録について

松本事務局より、日本学術会議協力学術研究団体への登録に関わる会員情報収集のお願いについて、資料が配布され、検討がなされたが、次回理事会で継続審議となった。

5 第24回絵本学会大会(2021年度)の大会開催について

第24回絵本学会大会について継続審議となった。

6 その他

・今後の理事会日程について

第4回絵本学会理事会 2020年3月 1日(日)13:30～

絵本学会臨時理事会 2020年4月26日(日)13:30～

編集後記

・日本保育学会など、各学会の研究大会が軒並み中止になるなか、絵本学会では延期の決定をしました。大会は1年の総まとめでもあり、新たな始まりでもあると思います。不安のない状態で大会が開催され、絵本を愛するみなさんと、絵本研究を深める機会をもてますよう引き続き準備を進めていきたいと思います。ご執筆、ご協力くださった皆様、ありがとうございました。

(佐々木由美子)

・新型コロナウイルスへの対応から絵本学会大会が延期となりました。準備をしていただいた南阿蘇町の実行委員の皆さま、記念講演のいせひでこさま、柳田邦男さま、研究発表に応募していただいた皆さま申し訳ありません。仕切り直しとなりますが、安全・安心な状態でお会いしましょう。絵本について皆さんと熱く語り合える日を楽しみにしています。

(生田美秋)

・新型コロナウイルスの感染拡大と、それに伴う政府・首相の対策によって、お仕事や生活に大きな影響を受けていらっしゃる会員の方も多いと思います。グローバリゼーションの負の側面を痛感する出来事ではありますが、お互い体調管理に気をつけて辛抱強く対応していきましょう。また、ご家族やご親戚、知人友人、同僚に感染された方があるかも知れません。一日も早い快復をお祈り申し上げます。

(甲木善久)

・テレワークをすることが増え、自宅にいる時間が長くなりました。パソコンから離れる時、大好きな絵本や画材と一緒に過ごすようにしています。

そして絵本にできることはなんだろう…と考えています。

落ち着かない日々が続く中、ご協力いただきました皆さまに感謝申し上げます。

(宮崎詞美)

イラストレーション募集

絵本学会NEWSに掲載するイラストを募集しています。

ご協力いただける方は、学会事務局までメールでお知らせください。

改めて、広報委員会より詳細について、ご連絡させていただきます。